



四国森林管理局

# 徳島森林管理署 とくしま通信

## 池田高校三好校への出前講座を行いました

徳島森林管理署では、今年度初めて、池田高校三好校の環境資源科 2 年生を対象に、ドローンの操縦などに関する出前講座を1月29日に行いました。まず、ドローンの操縦に関する規則や遵守すべき事項についての座学を行い、その後、学校のグラウンドに移動し、3 班に分かれ基本的な操縦から、森林・林業分野でのドローンの利用事例に基づいた様々な操縦方などについて、当署職員の指導の下、生徒自ら操縦しました。授業時間をオーバーしての講座となるなど、生徒たちには大変好評のようでした。今回林業の担い手となり得る三好校の生徒を対象にドローンの出前講座を行うことができましたが、徳島森林管理署では、引き続き、この取組を継続していきます。



基本操作事項を講義する次長



自らドローンを操作する生徒



ドローンをキャッチする生徒



飛行準備を行う生徒

## 砂防事業と治山事業との調整を行いました

1月22日、徳島県庁会議室において、**砂防・治山地方連絡調整会議**が行われました。この会議は、毎年この時期に開催しているもので、徳島県、国交省四国地方整備局と四国森林管理局・徳島署が次年度事業について調整を図り、それぞれの事業が効果的に施工されることを目的としています。会議の冒頭、徳島県森林整備課長から「昨年の7月豪雨災害で、県民の防災・復旧に対する期待は大きい。効果的な治山・砂防事業の推進が必要。」との挨拶の後、徳島署、徳島県、四国地方整備局の担当者による事業地の確認などの調整を行いました。徳島署では、関係機関との調整を図ることによって効果・効率的な治山事業の実行を図っていきます。



連絡調整会議の様子



県砂防防災課との調整



県森林整備課との調整



四国地方整備局との調整

## 那賀高校生への森林環境教育を行いました

徳島県立那賀高校「森林クリエイト科」3年生への最後となる森林環境教育(9回目)を1月15日に行いました。最後の森林環境教育では、これまでの3年間の振り返りかえりと、3つテーマ(◆国産材自給率50%のためには何が必要か、◆県産材の新たな需要拡大のためには何が必要か、◆徳島署の森林環境教育について)で意見交換を行いました。生徒からは、「国産材の良さをもっとPRすべき」、「消費者に対し、森林環境教育を行うべき」、「消費者が求める規格(乾燥など)を有した製品を生産すべき」などの意見が出されました。また、徳島署の森林環境教育については、様々なデータなどで、より深く森林・林業を知ることができたとの意見が出されました。



森林環境教育の様子



講義する徳島署長



意見を述べる生徒



アドバイザーの兼松課長補佐  
(徳島県南部総合県民局)



徳島県庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署  
TEL:088-637-1230 / FAX:088-666-1818  
〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1

